

第2回 千秋公園大手門の堀遊歩道基本計画策定のための意見交換会でのおもな意見

日時：令和4年2月9日（金）15：00～16：30

場所：秋田市役所5階 正庁

項目	意見の要旨
1 パブリックコメントについて	運用方針等について回答するのであれば市のスタンスを表明してほしい。前向きなのか、難しいから検討するのか表現するべきではないか。
	実現困難な意見については無理だと回答した方がいい。
	パブリックコメント回答案にある「今後の参考にさせてもらう」という表現があいまい。利用時間や利用方法などはっきりさせた方がいい。
2 遊歩道の活用について	千秋公園とあわせて、ハスの開花の様子が見えるよう写真等を並べるなど、学べる施設として説明板等の設置が必要ではないか。遊歩道を利用して、何か1つでも得るものをつくるべきではないか。
	HPへの情報掲載も必要だが、QRコード等、ICTを活用し観光情報を一元化するべきではないか。
	QRコードによる情報提供は、内容が変わったときも対応が簡単であり有用と考える。
	利用時間について、表明が難しいのであれば計画（案）から表記をぬくとか、引き続き検討するとか表現を変えたほうがいい。早朝だけでなく、時間や季節についても広く考えたほうがいい。
	早朝利用については利用開始時間を定める必要があると思うが、ハスの開花の瞬間を見るためには朝4時とかでないといけない。時間については、秋田の高齢化に則した運用にしてほしい。
	子供が柵を乗り越えないか心配。杖を使用する人の安全面を考えると、床よりも柵にハスの模様を入れた方がいい。
観光資源としての価値をつけていくべき。そのためにも照明設備計画が重要だと考える。	
3 計画について	ソフト面の話が計画（案）に書かれていない。細かく書かなくてもいいとは思いますが、計画なのだから理念、理想等を書くべきではないか。
4 千秋公園再整備基本計画等との関連について	遊歩道の効果やミルハスとの関係など、千秋公園再整備として全体的に見た方がいい。
	市の計画（秋田市中心市街地活性化基本計画）では大手門の堀は芸術文化ゾーンに位置している。芸術などの点についてもっとアピールした方がいい。
	案内板について千秋公園全体として考えてほしい。地図についてもミルハスができたり、名称が変わっており、修正が必要。場所毎に少しずつではなく、トータルで考えるべきではないか。
	佐竹史料館の裏から下りていく道と東側ポケットパークを使った回遊性のあるルートとした一体性のあるものが望ましい。
5 堀の植生について	植生の配置変更を行うのか。観光の目玉として蓮根は飲食に活用できるのではないか。
	食用と花を觀賞する蓮は違う。大手門の堀のハスは觀賞用の種類であり、蓮根の食用には向かないとされる。
6 その他	千秋公園の管理を公園課一元管理ではなく、文化財保護関連の課所室等と二元管理化などを提案する。二元管理化とすることで、より俯瞰した目で見られると考える。